

評価細目の第三者評価結果

（保育所、地域型保育事業）

I 福祉サービスの基本方針と組織

I-1 理念・基本方針

		第三者評価結果	コメント
I-1-1 (1) 理念、基本方針が確立・周知されている。			
1	I-1-1 (1)-① 理念、基本方針が明文化され周知が図られている。	a	<ul style="list-style-type: none"> ・保育園パンフレット・入園時説明会資料に明文化されいつでも誰でも見ることができ周知を図っている。 ・保護者へは見学時・面接時・入園式等で繰り返し周知している。 ・法人代表は職員入職時に自ら面談し共有に努めている。 さらに3園と本部で行われる園長会にて理念「遊びを中心とした保育」が確認され園長から各園の職員へ共有されている。

I-2 経営状況の把握

		第三者評価結果	コメント
I-2-1 (1) 経営環境の変化等に適切に対応している。			
2	I-2-1 (1)-① 事業経営をとりまく環境と経営状況が的確に把握・分析されている。	a	<ul style="list-style-type: none"> ・法人代表が役所会議・川口市保育園連絡協議会に出席し福祉事業の動向を把握している。 ・代表は連絡協議会役員として地域の動向を把握し、経営環境の分析を行っている。 ・経営状況は外部社労士・税理士からも積極的に情報収集し、アドバイスを受け本部で経営状況を把握・分析している。
3	I-2-1 (1)-② 経営課題を明確にし、具体的な取り組みを進めている。	b	<ul style="list-style-type: none"> ・本部は経営管理状況を分析している。 ・将来予想される課題は社労士・税理士と共にピックアップし対策・計画を立てている。 ・職員の周知にバラツキが見られるので今後は職員に周知し組織全体での取組に期待したい。

I-3 事業計画の策定

		第三者評価結果	コメント
I-3-1 (1) 中・長期的なビジョンと計画が明確にされている。			
4	I-3-1 (1)-① 中・長期的なビジョンを明確にした計画が策定されている。	a	<ul style="list-style-type: none"> ・法人は理念や基本方針・地域の実態・収支計画を基に事業計画を策定している。
5	I-3-1 (1)-② 中・長期計画を踏まえた単年度の計画が策定されている。	a	<ul style="list-style-type: none"> ・法人は毎年10月～12月に収支状況を確認の上、現状分析をし次年度の計画に反映させている。
I-3-1 (2) 事業計画が適切に策定されている。			
6	I-3-1 (2)-① 事業計画の策定と実施状況の把握や評価・見直しが組織的に行われ、職員が理解している。	b	<ul style="list-style-type: none"> ・月1回の管理者・園長会議で状況を把握し策定している。 ・職員の理解度にバラツキがあるため、今後は組織として全職員に理解されるよう期待したい。
7	I-3-1 (2)-② 事業計画は、利用者等に周知され、理解を促している。	b	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度の事業計画の1つの福祉サービス第三者評価受審は周知し、園長は保護者一人ひとりに声をかけ、協力・理解して頂けるよう努めていた。 ・利用者の事業計画の理解はバラツキが見られ、より良い園運営のために周知徹底し、理解を得られるよう期待したい。

I-4 福祉サービスの質の向上への組織的・計画的な取組

		第三者評価結果	コメント
I-4-(1) 質の向上に向けた取組が組織的・計画的に行われている。			
8	I-4-(1)-① 福祉サービスの質の向上に向けた取組が組織的に行われ、機能している。	a	<ul style="list-style-type: none"> ・毎年、園の自己評価を実施している。 ・今年度は福祉サービス第三者評価受審を実施。積極的に福祉サービスの質の向上に取り組んでいる。 ・日常的に小規模保育園の良さを最大限に活かし全職員でその日の課題や翌日の改善等スピードと柔軟性を持ち合わせたPDCAサイクルの保育が実施されている。
9	I-4-(1)-② 評価結果に基づき組織として取り組むべき課題を明確にし、計画的な改善策を実施している。	a	<ul style="list-style-type: none"> ・自己評価は細かく分析され取り組むべき課題が明確になっている。 ・分析報告書には「コロナ禍は更に職員間の連携が重要」と取り組むべき課題が明確に記載されている。 ・外遊びのリスク回避のため、室内あそびを職員話し合いの上、日々臨機応変に改善している。また中止とした運動会を何とか出来る方法よう積極的に改善をしている。

II 組織の運営管理

II-1 管理者の責任とリーダーシップ

		第三者評価結果	コメント
II-1-(1) 管理者の責任が明確にされている。			
10	II-1-(1)-① 管理者は、自らの役割と責任を職員に対して表明し理解を図っている。	b	<ul style="list-style-type: none"> ・本部訪問の際に職員の意見をまとめ伝えている。 ・管理者は職員が働きやすい環境を第一に考え自ら積極的に行動している。 ・職員の理解度にバラツキがあるため、管理者は更に職員に理解されるような取組に期待したい。
11	II-1-(1)-② 遵守すべき法令等を正しく理解するための取組を行っている。	a	<ul style="list-style-type: none"> ・法人として諸規定が整備されており毎年度はじめ期間を設け全員が確認を行えるようにしている。 ・諸規定は社会情勢・法改訂により適宜改定が行われ随時全員に周知が図られている。 ・管理者はマニュアル等を自ら改訂し職員に説明を行っている。
II-1-(2) 管理者のリーダーシップが発揮されている。			
12	II-1-(2)-① 福祉サービスの質の向上に意欲をもち、その取組に指導力を発揮している。	a	<ul style="list-style-type: none"> ・話し合いの場は積極的に職員の意見をまとめ必要があれば本部に相談・報告している。 ・調査訪問日は積極的に職員のサポートに動き、全体のバランスをとるように努めていた。 ・さらに「職員が子どもと十分に対応できる・充実した仕事ができる環境を作り」をモットーに上げている。
13	II-1-(2)-② 経営の改善や業務の実効性を高める取組に指導力を発揮している。	a	<ul style="list-style-type: none"> ・この園は全員復職保育士で運営しているため、家庭と仕事が両立できるよう、残業なしに努めている。 ・入力作業が苦手な保育士に対し、効率的な業務のためにサポートを行っている。

Ⅱ-2 福祉人材の確保・育成

		第三者評価結果	コメント
Ⅱ-2-(1) 福祉人材の確保・育成計画、人事管理の体制が整備されている。			
14	Ⅱ-2-(1)-① 必要な福祉人材の確保・定着等に関する具体的な計画が確立し、取組が実施されている。	a	<ul style="list-style-type: none"> ・経験10年以上の職員が多く、キャリア研修を受講し研鑽に努めている。 ・配置職員は園児12名に対して4名が配置され加配配置が行われている。さらに職員の負担軽減のため、支援員が配置されている。 ・法人は園や職員の将来・変化を見据え、異動・働き方の提案等を行い職員が充実感を持ち働けるように努めている。
15	Ⅱ-2-(1)-② 総合的な人事管理が行われている。	a	<ul style="list-style-type: none"> ・職員入職時に代表が家庭の事情等の意向を聞き働きやすい環境を提案している。 ・人事基準が定められており法律改定時には更新され周知徹底強化週間を設定し周知に努めている。
Ⅱ-2-(2) 職員の就業状況に配慮がなされている。			
16	Ⅱ-2-(2)-① 職員の就業状況や意向を把握し、働きやすい職場づくりに取組んでいる。	a	<ul style="list-style-type: none"> ・法人は就業について社労士と相談し常に職員の働きやすい職場作りを考えている。 ・法人は毎年10月に面談を実施。ヒアリングを行い意向の確認をしている。 ・職員は話合いの場を意見が言いやすいようにしている。 ・シフトは月末に職員で話合い作成している。家庭の事情(子ども等)等急な変更の申し出も互いに調整しやすい雰囲気があり、系列園からのサポートも受けられる仕組みがある。
Ⅱ-2-(3) 職員の質の向上に向けた体制が確立されている。			
17	Ⅱ-2-(3)-① 職員一人一人の育成に向けた取組を行っている。	b	<ul style="list-style-type: none"> ・職員自己評価を年度末に行い各自が振り返りと次年度目標を設定している。個人目標を基に研修計画が策定されている。 ・管理者・園長は日頃から職員の状況を共有し、育成へ向けアドバイスをしている。 ・職員は研鑽意欲が高く、まだまだスキルアップを望んでいる。法人は、さらにきめ細かく実施出来るように努めることに期待したい。
18	Ⅱ-2-(3)-② 職員の教育・研修に関する基本方針や計画が策定され、教育・研修が実施されている。	a	<ul style="list-style-type: none"> ・管理者は本部情報や各行政の研修等を全員へ案内後、意見をとりまとめ計画を作成している。 ・受講後は参加者が講師となり報告会を兼ね研修を開催し受講者もさらなる研鑽が出来るようにしている。 ・今年度は、オンラインで開催される「遊び」の研修に全員で参加し、さらに3園合同開催の夏季研修を予定している。
19	Ⅱ-2-(3)-③ 職員一人一人の教育・研修の機会が確保されている。		
Ⅱ-2-(4) 実習生等の福祉サービスに関わる専門職の研修・育成が適切に行われている。			
20	Ⅱ-2-(4)-① 実習生等の福祉サービスに関わる専門職の教育・育成について体制を整備し、積極的な取組をしている。	a	<ul style="list-style-type: none"> ・法人全体で受け入れを行っている。 ・関係機関に受入れ表明し実習マニュアルが整備され受入れ体制が整っているが今のところ希望者はない。

Ⅱ-3 運営の透明性の確保

		第三者評価結果	コメント
Ⅱ-3-(1) 運営の透明性を確保するための取組が行われている。			
21	Ⅱ-3-(1)-① 運営の透明性を確保するための情報公開が行われている。	a	<ul style="list-style-type: none"> ・HP・パンフレット・ブログ等を活用し基本方針、保育内容、保育目標、保育活動内容や職員活動倶楽部、個人情報保護方針を公開している。 ・今後は系列園においても福祉サービス第三者評価受審を計画しており運営の透明性を確保していく意向がある。
22	Ⅱ-3-(1)-② 公正かつ透明性の高い適正な経営・運営のための取組が行われている。	a	<ul style="list-style-type: none"> ・法人本部・税理士・社労士により事業の運営状況の確認・分析が行われている。 ・園の事務・経理等は管理者が法人ルールに基づき本部へ報告している。

Ⅱ-4 地域との交流、地域貢献

		第三者評価結果	コメント
Ⅱ-4-(1) 地域との関係が適切に確保されている。			
23	Ⅱ-4-(1)-① 利用者と地域との交流を広げるための取組を行っている。	a	<ul style="list-style-type: none"> ・散歩時、職員は積極的に挨拶をし子ども達も自然と挨拶が出来る環境を作っている。自らコミュニケーションがとれる子どもへ導いている。 ・公園で出会った親子と交流し共に遊んだり保護者の質問を受けたりしている。 ・歩道に面した窓・壁に行政からの掲示物が掲示し近隣への情報提供を行っている。 ・近隣の工場から廃材の提供を受け遊びに活用している。 ・AEDを所有している事を明示し必要があれば地域の方にも活用出来るようにしている。
24	Ⅱ-4-(1)-② ボランティア等の受入れに対する基本姿勢を明確にし体制を確立している。	a	<ul style="list-style-type: none"> ・法人全体で受け入れを行っている。 ・マニュアルが整備され受入れ体制が整っている。
Ⅱ-4-(2) 関係機関との連携が確保されている。			
25	Ⅱ-4-(2)-① 福祉施設・事業所として必要な社会資源を明確にし、関係機関等との連携が適切に行われている。	a	<ul style="list-style-type: none"> ・関係機関一覧表が作成されている。備考欄には主たる問合せ内容が記載され、担当箇所へすぐ連絡出来る内容になっている。 ・法人は行政や協議会と定期的に連絡を取り、園は園医から感染症等のアドバイスを受ける等、常に細心の情報を入手するように努めている。
Ⅱ-4-(3) 地域の福祉向上のための取組を行っている。			
26	Ⅱ-4-(3)-① 地域の福祉ニーズ等を把握するための取組が行われている。	a	<ul style="list-style-type: none"> ・法人は行政や協議会等を通じニーズの把握に努めている。 ・管理者・園長は行政の園長会等を通して情報を収集している。
27	Ⅱ-4-(3)-② 地域の福祉ニーズ等に基づく公益的な事業・活動が行われている。	a	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍で制限がある中、HPを積極的に活用しオリジナルソングの楽譜や音源の公開・栄養士のワンポイントアドバイス・管理者のコラム掲載等を行っている。 ・職員は公園で出会った親子と遊びを共にし気軽に相談に乗れる環境を作っている。

Ⅲ 適切な福祉サービスの実施

Ⅲ-1 利用者本位の福祉サービス

		第三者評価結果	コメント
Ⅲ-1-(1) 利用者を尊重する姿勢が明示されている。			
28	Ⅲ-1-(1)-① 利用者を尊重した福祉サービス提供について共通の理解をもつための取組を行っている。	a	<ul style="list-style-type: none"> ・運営規定に平等原則・子どもの人権・利用者を尊重したサービスの提供規定が定められている。 ・方針・計画の話し合い・年度末の保育全体の振り返りの際に職員全員で改めて諸規定を確認し実際の保育と合わせ理解を深めている。
29	Ⅲ-1-(1)-② 利用者のプライバシー保護に配慮した福祉サービス提供が行われている。	a	<ul style="list-style-type: none"> ・子ども・保護者のプライバシーに関する規定が整備されている。 ・保護者へは個人情報保護説明と合わせて説明が行われている。 ・「プライバシー保護に配慮した保育サービスについて」にはオムツ替え・着替え・水遊びは視覚的配慮を行うことが具体的に記載されている。 ・職員は、登降園時の会話が他者に聞こえないよう場所を移動して行う等注意を払っている。 ・職員は入職時に説明を受け誓約している。
Ⅲ-1-(2) 福祉サービスの提供に関する説明と同意(自己決定)が適切に行われている。			
30	Ⅲ-1-(2)-① 利用希望者に対して福祉サービス選択に必要な情報を積極的に提供している。	a	<ul style="list-style-type: none"> ・HPは、保育理念や保育方針の他、一日の流れが写真付きで掲載され、イメージがつきやすいよう工夫がされている。 ・パンフレットはわかりやすい言葉を用い保育の特色が記載されている。又web上での閲覧も出来、印刷も出来るようにしている。 ・園長は入園希望者に対し1組みずつきめ細かく対応している。
31	Ⅲ-1-(2)-② 福祉サービスの開始・変更に当たり利用者等に分かりやすく説明している。	a	<ul style="list-style-type: none"> ・面接時はパンフレット・重要事項説明書・契約書・個人情報保護方針を使用し個別に説明が行われている。 ・入園決定後は重要事項・契約書を用い、慣らし保育・土曜保育・ICT利用・保育料納入・非常災害時の対応や避難場所・ケガ等の緊急時の対応・写真提供等それぞれにまとめられたわかりやすい文書を配布・説明している。 ・持ち物は、重要事項説明書に記載され入園前に用意する物、毎日持参する物が分けてあり、わかりやすい表記になっている。
32	Ⅲ-1-(2)-③ 福祉施設・事業所の変更や家庭への移行等に当たり福祉サービスの継続性に配慮した対応を行っている。	a	<ul style="list-style-type: none"> ・卒園後の提携受け入れ園が決まっており、継続して保育が受けられるよう体制が整えられている。 ・在園中の育ちの記録を提携園・転園先へ提出し継続性の確保が図られている。
Ⅲ-1-(3) 利用者満足の向上に努めている。			
33	Ⅲ-1-(3)-① 利用者満足の向上を目的とする仕組みを整備し、取組を行っている。	a	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者との会話・個人面談・ICTによる連絡、懇談会、給食試食会等で意向や要望、満足度を把握するよう努めている。 ・園長は保護者へ声かけを行い、会話の中から十分なアセスメントを取り保育に活かしている。 ・今回の保護者からのアンケートでは＜総合満足度＞満足82%やや満足18%不満0%と満足度の高い結果が出ている

Ⅲ-1-(4) 利用者が意見等を述べやすい体制が確保されている。		
34	Ⅲ-1-(4)-① 苦情解決の仕組みが確立しており、周知・機能している。	a <ul style="list-style-type: none"> ・苦情解決マニュアルが策定されている。 ・苦情解決については重要事項説明書に連絡先・担当者・受付時間が記載されている。遠慮なく話がしやすいよう他園（市内2カ所）も記載され相談しやすいようになっている。 ・保護者からの意見に対して窓口を園長に1本化し、丁寧に聴き取りを行っている。その後、園で話し合い解決策や対応を図っている。また本部に報告を行い助言を得ている。
35	Ⅲ-1-(4)-② 利用者が相談や意見を述べやすい環境を整備し、利用者等に周知している。	a <ul style="list-style-type: none"> ・入園時に仕組みについて説明し周知に努めている。 ・相談場所は複数提示され保護者が選べるようにしている。 ・登降園時、園長は保護者の表情や雰囲気にも注視し必要な時には積極的に面談に誘うようにしている。
36	Ⅲ-1-(4)-③ 利用者からの相談や意見に対して、組織的かつ迅速に対応している。	a <ul style="list-style-type: none"> ・保護者からの意見や要望は当日すぐに共有され、迅速に対応している。また園長が本部へ連絡し相談する仕組みがある。 ・苦情解決の仕組みは園マニュアルの他川口市マニュアル、県外行政の資料も用意され、記録簿も整備されている。
Ⅲ-1-(5) 安心・安全な福祉サービスの提供のための組織的な取組が行われている。		
37	Ⅲ-1-(5)-① 安心・安全な福祉サービスの提供を目的とするリスクマネジメント体制が構築されている。	a <ul style="list-style-type: none"> ・危険箇所チェック表は一目瞭然にチェックが出来る、チェック後も共有しやすい形となっている。 ・チェックは毎日行われ不具合のある場合はその日のうちに修繕を行っている。 ・時間や費用がかかるものは当日中に一時修繕を行い、本部へ報告をしサポートを得る仕組みがある。 ・ヒヤリハット・アクシデントは当日中に全職員で共有し、詳細な原因をつきとめ対策が立てられている。
38	Ⅲ-1-(5)-② 感染症の予防や発生時における利用者の安全確保のための体制を整備し、取組を行っている。	a <ul style="list-style-type: none"> ・各種マニュアル・イラストや写真・チェックリストがわかりやすく掲載した各種資料、消毒方法一覧、留意点がまとめられた資料を整備し直ぐに確認ができる体制が整えられている。 ・さらに行政・本部や毎月訪問する園医からの最新情報は当日中に共有されている。
39	Ⅲ-1-(5)-③ 災害時における利用者の安全確保のための取組を組織的に行っている。	a <ul style="list-style-type: none"> ・火災時・地震時・不審者対応・通報、川口市安全等各種マニュアルを整備し県外の参考になる資料も収集している。 ・マニュアル・ハザードマップを基に年間避難計画が策定され、地震・火災だけでなく不審者侵入訓練・雷雨発生時訓練・水害(大雨)・引き渡し訓練等毎月様々な訓練が行われている。 ・計画は職員が緊急時に求められる具体的行動が記載され何をすべきかわかりやすい内容になっている。 ・風水害時に垂直避難ができる近隣施設の確保、備蓄や備品のリストも作成され管理が行われている。 ・玄関には屋外非難する場合の職員の役割、必ずもって避難する物が掲示され慌ててもすぐさま確認出来るようになっている。 ・保護者へはどのような時にどこへ避難するか・電話が不使用の場合の対応が記載された文書が配布されている。

Ⅲ-2 福祉サービスの質の確保

Ⅲ-2-1 提供する福祉サービスの標準的な実施方法が確立している。		
40	Ⅲ-2-1-① 提供する福祉サービスについて標準的な実施方法が文書化され福祉サービスが提供されている。	a <ul style="list-style-type: none"> ・市の保育マニュアルを活用している。 ・年度初めの園長会で「遊びを中心とした保育」について確認が行われ、園長が職員に説明し基本的保育について共有に努めている。 ・計画作成・振り返り時に全職員でマニュアルを確認し保育内容・援助方法・配慮点等個々に合わせた保育に努めている。
41	Ⅲ-2-1-② 標準的な実施方法について見直しをする仕組みが確立している。	a <ul style="list-style-type: none"> ・マニュアルの見直しは、管理者・園長が職員の意見を基に行っている。 ・毎年、行政書類監査前・各訓練前・関係省庁からの連絡時と複数回行われている。
Ⅲ-2-2 適切なアセスメントにより福祉サービス実施計画が策定されている。		
42	Ⅲ-2-2-① アセスメントにもとづく個別的な福祉サービス実施計画(個別支援計画)を適切に策定している。	a <ul style="list-style-type: none"> ・個別計画は0歳～2歳対象の園として一人ひとりきめ細かくアセスメントを取り策定されている。 例) 離乳食完了期の子どもの食事 家庭内での食事や咀嚼の内容を十分に聞きとり、園での状況を加味し、総合的にミルク量と食事形態を策定している。
43	Ⅲ-2-2-② 定期的に福祉サービス実施計画(個別支援計画)の評価・見直しを行っている。	a <ul style="list-style-type: none"> ・各職員のアセスメント・毎日の話合い・保育記録等を基に月末個別計画を策定している。 ・その内容は時系列でわかり、特記事項はメモが貼付され、職員全員が共有出来るようになっている。 ・更に保護者のアセスメントが記入されおり、見直しの資料となっている。
Ⅲ-2-3 福祉サービス実施の記録が適切に行われている。		
44	Ⅲ-2-3-① 利用者に関する福祉サービス実施状況(個別支援計画)の記録が適切に行われ、職員間で共有化されている。	a <ul style="list-style-type: none"> ・小規模の特徴を活かし全職員に全ての子どもの情報が共有されている。 ・子どもの様子や変化は毎日全職員で共有し記帳している。 ・共有化が毎日、図られているので迅速且つ柔軟に対応が行われている。
45	Ⅲ-2-3-② 利用者に関する記録の管理体制が確立している。	a <ul style="list-style-type: none"> ・個人情報鍵付きの書庫に保管されている。 ・PCはセキュリティソフトを使用、離席の際にはパスワードロックをかけている。 ・運営規定に書類保存期間・対象記録物の条文が定められ誰もがわかるようになっている。 ・法人は職員入職時に個人情報保護の説明を行い職員は取扱いに関して誓約している。 ・保護者へは入園時に説明を行い同意書の提出をしてもらっている。

A 個別評価基準

A-1 保育内容

		第三者評価結果	コメント
A-1-(1) 全体的な計画の作成			
46	A-1-(1)-① 保育所の理念、保育の方針や目標に基づき、子どもの心身の発達や家庭及び地域の実態に応じて全体的な計画を作成している。	b	<ul style="list-style-type: none"> ・理念・運営方針・保育目標・＜遊び主体の保育＞・＜それぞれのペースで過ごせる保育環境＞等が記載された全体的な計画が作成している。 ・さらに職員の意見・意向をよりきめ細かく反映する仕組みを作り、全体的な計画が作成される事を期待します。
A-1-(2) 環境を通して行う保育、養護と教育の一体的展開			
47	A-1-(2)-① 生活にふさわしい場として、子どもが心地良く過ごすことのできる環境を整備している。	b	<ul style="list-style-type: none"> ・歩道から子ども達の様子が覗かれないように個人ロッカーを利用した目隠しが配置され子どもが落ち着いて過ごせるように工夫している。 ・床にはクッションマットを敷き安全が配慮されている。 ・当該年度の子どもの発達に合わせて年に数回模様替えをしている。 ・子どもが興味を持つ隠れ家的な空間を作り、園の理念である主体的な保育を目指す環境を用意している。 ・リフォーム直後で未整備の点も見受けられた。早急に改善する事を期待します。
48	A-1-(2)-② 一人一人の子どもを受容し、子どもの状態に応じた保育を行っている。	a	<ul style="list-style-type: none"> ・ゆったり・のんびりとした雰囲気の中、子どもの仕草・目線・表情から思いを汲取るように会話を交わす、遊びこんでいるときは様子を見守る、要求に応じて手を差し伸べる等個々に応じた保育をしている。 ・当日中に活発な意見交換が全職員で取り交わされ直ぐに改善・実行が行われている。 ・管理者による記録は具体的に記入され共有を図るために役立っている。
49	A-1-(2)-③ 子どもが基本的な生活習慣を身に付けることができる環境の整備、援助を行っている。	a	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭内のアセスメントをしっかりと、全職員で共有し検討している。 ・排泄はスモールステップで進め、興味関心があれば声かけをし、体験してみる等個々に応じた対応をしている。 ・手洗いは全員並ばすことなく、職員が一人ひとり丁寧に声掛けをし、歌いながら時間を十分にとり行っていた。
50	A-1-(2)-④ 子どもが主体的に活動できる環境を整備し、子どもの生活と遊びを豊かにする保育を展開している。	a	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍、室内あそびが増え保育室の一部をリフォームし隠れ家ブースを作った。 ・保育室は、職員手作りのモールが温かい雰囲気を作っている。 ・金魚の飼育・大型遊具・マット等があり子どもが自由に使えるようにしている。また本を読むコーナーもあり保育室の工夫をしている。 ・3園合同の移動動物園は動物を身近に感じたり、命に触れたり、優しく接するなど子どもの心を豊かにする環境を用意している。 ・土曜保育は系列園で行われ、当該園の職員を配置している。いつもと違う環境・3才以上の子との交流等興味関心を引き出せる様サポートしている。 ・どの職員も自らが主体的となり今日の保育をどのようにしようかと考えている様子が見えた。

51	A-1-(2)-⑤ 乳児保育(0歳児)において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	a	<ul style="list-style-type: none"> ・2人の0歳児には午睡や授乳の時間は一緒ではなく個別に対応している。 ・離乳食時は子どもの様子をよく観察し、1対1で声かけもしながら与えていた。 ・また保育士は穏やかに子どもに接し、子どもは保育士に対して身を委ね心身ともに安心して印象を受けた。 ・毎日園長は保護者から登園時に家庭での様子や体調等を丁寧に聴き取りをし職員に伝えている。
52	A-1-(2)-⑥ 3歳未満児(1・2歳児)の保育において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	a	<ul style="list-style-type: none"> ・保育室内ではブロック遊びをしている子・絵本を読んでいる子・抱っこされている子・布を巻いてポーズをとっている子を各々が十分に遊びこめるように職員はやりたいことを出来るように見守っていた。 ・3園合同保育での年齢の違うお友達との交流や本やおもちゃなどを貸し借り等を利用してより良い環境を整えている。 ・園長が登園時に一人ひとりの様子を丁寧に聞き職員と共有している。
53	A-1-(2)-⑦ 3歳以上児の保育において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。		対象外:小規模保育園の為3歳以上児が在籍しない
54	A-1-(2)-⑧ 障害のある子どもが安心して生活できる環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	a	<ul style="list-style-type: none"> ・マニュアルが作成され受け入れ体制は整っているが、開園以来受入れ実績はない。 ・行政担当課や心理士と連携を図りより良い支援ができる体制を整えている。
55	A-1-(2)-⑨ それぞれの子どもの在園時間を考慮した環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	a	<ul style="list-style-type: none"> ・18:00に夕おやつを提供している。 ・保護者連絡事項は引継シートに記載し家庭と園で共有している。 ・保育士は長時間保育で子ども達の要求が様々に出てくる中、きめ細やかに対応していた。 例)保育士の膝の上で1対1で絵本を読んでもらう子・ごろごろとマットの上でまったりする子・いつもとは違うおもちゃで遊ぶ子・保育士にべったり甘える子に対して十分に満たされる様、対応していた。
56	A-1-(2)-⑩ 小学校との連携、就学を見通した計画に基づく、保育の内容や方法、保護者との関わりに配慮している。		対象外:小規模保育園の為3歳以上児が在籍しない

A-1-(3) 健康管理		
57	A-1-(3)-① 子どもの健康管理を適切に行っている。	a <ul style="list-style-type: none"> ・保健計画は年間・年齢別に作成され期待したい姿や職員の援助内容が記載されている。 ・各年齢ごとのSIDSチェック表が用意され時間ごとに確認が行われている。また午睡スペースには職員が3名おり子ども達の様子を見守っていた。 ・AEDを設置し表を基にチェックが行われ常に使えるようになっていた。
58	A-1-(3)-② 健康診断・歯科健診の結果を保育に反映している。	a <ul style="list-style-type: none"> ・全園児、園医による内科健診・歯科健診を年2回実施している。その結果は園医が記載し保護者に配布されている。 ・既定の健診の他、0才児・皮膚や耳・健康に関して気になる症状がある子どもは毎月園医による健診が行われている。家庭・職員からの質問に園医から助言が行われ職員共有後、個別の計画に反映されている。
59	A-1-(3)-③ アレルギー疾患、慢性疾患等のある子どもについて、医師からの指示を受け適切な対応を行っている。	a <ul style="list-style-type: none"> ・国のガイドラインを基に園独自のマニュアルを作成している。開園以来対象児の在籍はない。
A-1-(4) 食事		
60	A-1-(4)-① 食事を楽しむことができるよう工夫をしている。	a <ul style="list-style-type: none"> ・盛付は少量にしておかわりが出来る様にし、完食の喜びを感じられるようにしている。 ・職員はお皿の上で食材を組合わせてにっこりマークを作る等楽しく食べられるよう工夫している。 ・保護者に対して栄養士のワンポイントアドバイスを配布し参考にしてもらえるようにしている。
61	A-1-(4)-② 子どもがおいしく安心して食べることのできる食事を提供している。	a <ul style="list-style-type: none"> ・衛生管理は、給食を作っている系列園で市の衛生マニュアルを厳守し調理されている。その上で衛生管理チェック表等を活用し、毎日チェックが行われている。 ・嗜好・残菜調査記録簿を作成し毎月栄養士参加の3園給食会議でメニュー・調理方法の見直し改善が行われている。

A-2 子育て支援

		第三者評価結果	コメント
A-2-(1) 家庭との緊密な連携			
62	A-2-(1)-① 子どもの生活を充実させるために、家庭との連携を行っている。	a	<ul style="list-style-type: none"> ・園長が問合せ・見学時から一貫して家庭との窓口になり、継続して話しやすい雰囲気を作っている。 ・ICTを活用し家庭での基本的事項は保護者が都合の良い時間に入力し、その内容を確認した上で登園時のヒアリングを行っている。 ・小規模の良さを最大限に生かし全職員が一人ひとりの子どもの事をきめ細かく共有している。
A-2-(2) 保護者等の支援			
63	A-2-(2)-① 保護者が安心して子育てができるよう支援を行っている。	a	<ul style="list-style-type: none"> ・休日診療病院・病児保育等のパンフレット・行政情報や連絡先等が玄関先にいつでも手に取れるようになっている。 ・園では登園時、声かけを行い話しやすい環境になるよう努めている。 ・アンケートでは「色々不安な中話を聞いてくれた。元気をもらえた」と声が上がっている。
64	A-2-(2)-② 家庭での虐待等権利侵害の疑いのある子どもの早期発見・早期対応及び虐待の予防に努めている。	a	<ul style="list-style-type: none"> ・埼玉県作成の対応マニュアルが整備されている。 ・登園時に必ずケガやアザなどがないか身体を確認し、お迎えの時間や持ち物の汚れや忘れもの、おむつの替え具合、肌の状態などで、子どもや家庭の状況などを確認している。 ・子どもの心身の状態や家庭での生活状況で普段と異なる様子がある場合は必ず当日共有し、関係各所に報告している。 ・県の虐待防止SOSリーフレットは保護者の手に取りやすい入口に設置してある。

A-3 保育の質の向上

		第三者評価結果	コメント
A-3-(1) 保育実践の振り返り(保育士等の自己評価)			
65	A-3-(1)-① 保育士等が主体的に保育実践の振り返り(自己評価)を行い、保育実践の改善や専門性の向上に努めている。	a	<ul style="list-style-type: none"> ・年度末に自己評価を行っている。評価後、翌年度の目標を策定している。 ・保育室が1室の為、他の職員が子どもと関わっている様子が目に入り、参考にしたい点・改善したい点を積極的に取り入れようとする職員の姿が見られた。 ・毎日の情報交換会で活発な意見や見直しを行い、柔軟・迅速に改善が組織的に行われている。